

私学高等教育研究所 第78回公開研究会

付随事業・収益事業の可能性

日時：2023年7月10日（月）13:30～15:30

会場：オンライン開催

主催：日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所

私立大学は学納金収入に大きく依存しているが、学齢人口の減少や経常費補助金の伸び悩みなどから、将来、収益構造の見直しを迫られることが予想される。

そこで、本研究所では、私立大学の財務の強化策としての付随事業・収益事業に注目し、日本と韓国の事例を調査している。今回は日本の私立大学の付随事業・収益事業の現状と個別の事例を紹介するとともに、今後の私立大学の収入の多元化に向けての課題を検討する。

講演

「日本の私立大学における付随事業・収益事業の現状」(30分)

講師：日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター 情報室長 南 浩司 氏
学校法人基礎調査の統計情報等から付随事業・収益事業の現状を示す。

事例紹介

(1) 「個別私立大学における子法人・関連会社（出資会社）の現状と展望」(20分)

講師：学校法人谷岡学園理事・法人本部長、大阪商業大学経済学部特任准教授 谷岡 辰郎 氏
自大学の状況を中心に発表し、ガバナンス上の課題を示す。

休憩 (10分)

(2) 「経営改善方策としての出資会社を考える」(15分)

講師：名城大学財務部事務部長、(株)名城大学サービス 監査役/私学高等教育研究所研究員 増田 貴治 氏

愛知県における出資会社について、アンケート調査結果に基づく現状と課題を発表するとともに今後の展望として出資会社間での連携の可能性について考察する。

(3) 「日本の私立大学における付随事業・収益事業の改革の可能性」(15分)

講師：私学高等教育研究所 坂下 景子

付随事業・収益事業が、私立大学ごとに規模や立地が異なるものの、多様に行われている現状について概況を説明し、日本と韓国の事例から今後の私立大学の運営方策を探る。

(4) 「韓国の私立大学の収益事業とデカップリング戦略」(20分)

講師：流通経済大学教授/私学高等教育研究所研究員 尹 敬勲 氏

学齢人口が減少する中、授業料収入と補助金は年々減るしかなく、私立大学の経営は厳しくならざるを得ない。今回の報告では、日本より深刻な事態が起きている韓国において独自の生存戦略を打ち出し、成長しつつある私立大学の挑戦を報告する。

まとめ 私学高等教育研究所主幹 西井 泰彦

お申込み

日本私立大学協会webサイト (<https://www.shidaikyo.or.jp/>) “トピックス”の公開研究会の開催案内から「申込フォーム」に記入の上、2023年7月3日（月）までにお申し込みください。終了後に期間限定で行う録画配信をご希望の方もお申込みください。

○参加料は無料です。

○お申し込み時に登録されたメールアドレスに、申し込み完了の自動返信メールが送信されます。15分経過してもメールが届かない場合には、お手数ですが研究所までご連絡ください。

○本公開研究会は、web開催です。視聴用のURLと配布資料は、お申し込みいただいたメールアドレスに、開催日前日迄にご案内いたします。

○ご登録いただいた情報は、本研究所の事業運営に必要な範囲に限り利用いたします。

○講演内容等は変更になる場合がございます。

○録画・録音・撮影は、禁止とさせていただきます。

【問合せ先】日本私立大学協会附置 私学高等教育研究所 担当：坂下景子、高山亜弓

TEL・・・03-5211-5090 / MAIL・・・info@riihe.jp